施工説明書

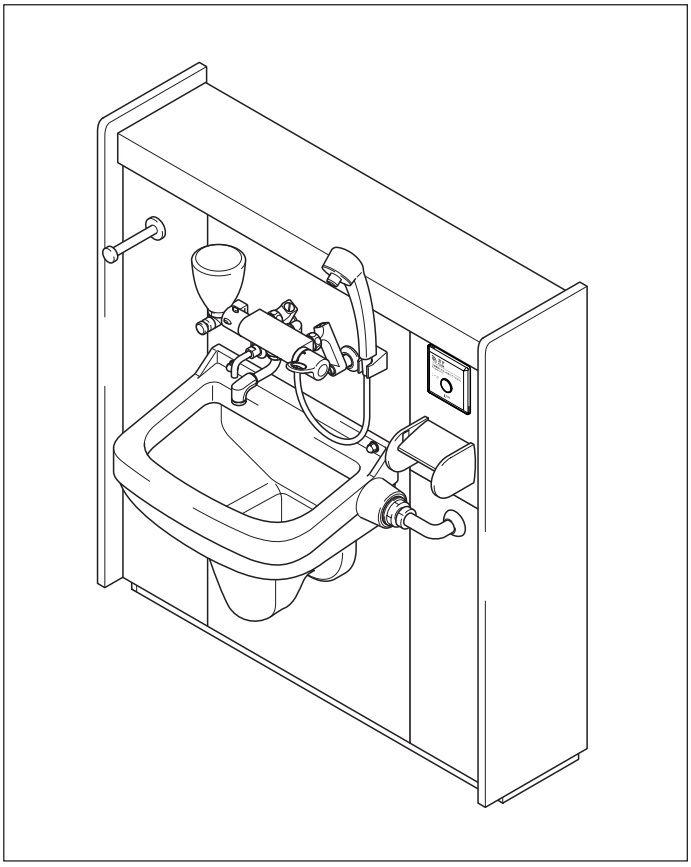
INAX

# オストメイトパック

PTOM-203W(電気温水器付タイプ)
PTOM-203(電気温水器なしタイプ)

もくじ


安全に関するご注意 2
意匠図、各部の名称 4
施工前の確認事項・準備・注意 5
部品の確認 7
施工方法 9


1. 墨打ち …… 9
2. 壁・床固定用アンカーの打ち込み …… 9
3. 給水アダプターの取付け …… 10
4. フレームの固定 …… 10
5. 排水フランジの取付け …… 12
6. 給水アダプター固定金具の取付け …… 12
7. 結線 …… 13
8. フラッシュバルブの取付け …… 13
9. L型洗浄管の取付け …… 13
10. アングル止水栓の取付け …… 13
11. 電気温水器の取付け …… 14
12. フレキ管接続 …… 14
13. 幅木(大)の取付け …… 14
14. 側板の取付け(オプション) …… 14
15. 前板の固定 …… 15
16. 陶器の取付け …… 16
17. スパッド・洗浄管の取付け …… 16
18. タッチスイッチの取付け …… 17
19. 各器具類の取付け …… 17
20. 前板裏ビス先端の養生 …… 17
21. 膨張水排出ゴム管接続 …… 18
22. 甲板の取付け …… 18
23. 漏水チェック・電源プラグの差し込み …… 19
24. 水勢調節・クリーニング …… 19


このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

●この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。
●施工後は必ず正常に作動することをご確認ください。
●お客さまに必ず本書と取扱説明書をお渡しください。


商品の技術的なお問い合わせは
(株)INAX「お客さま相談センター」商品相談窓口へ
ナビダイヤル
TEL. 0570-017173 受付時間 平日 9:00~19:00
FAX. 0570-017178 土日・祝日 10:00~18:00 (年末年始・夏季休暇は除く)
※ナビダイヤルは、PHS・IP電話などご利用できません。TEL 0562-31-0793 FAX 0562-31-0797 をご利用ください。

# 安全に関するご注意

## 安全のために守ってください！

**オストメイトパックを安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。**
**施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。**

### （用語および記号の説明）

**警告** ..... **「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」**

**注意** ..... **「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」**

..... **「注意しなさい！」（上記の『警告』『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）**

····· **この表示は、してはいけない「禁止」の記号です。**

····· **この表示は、必ず実行していただく「強制」の記号です。**

## ⚠ 警告

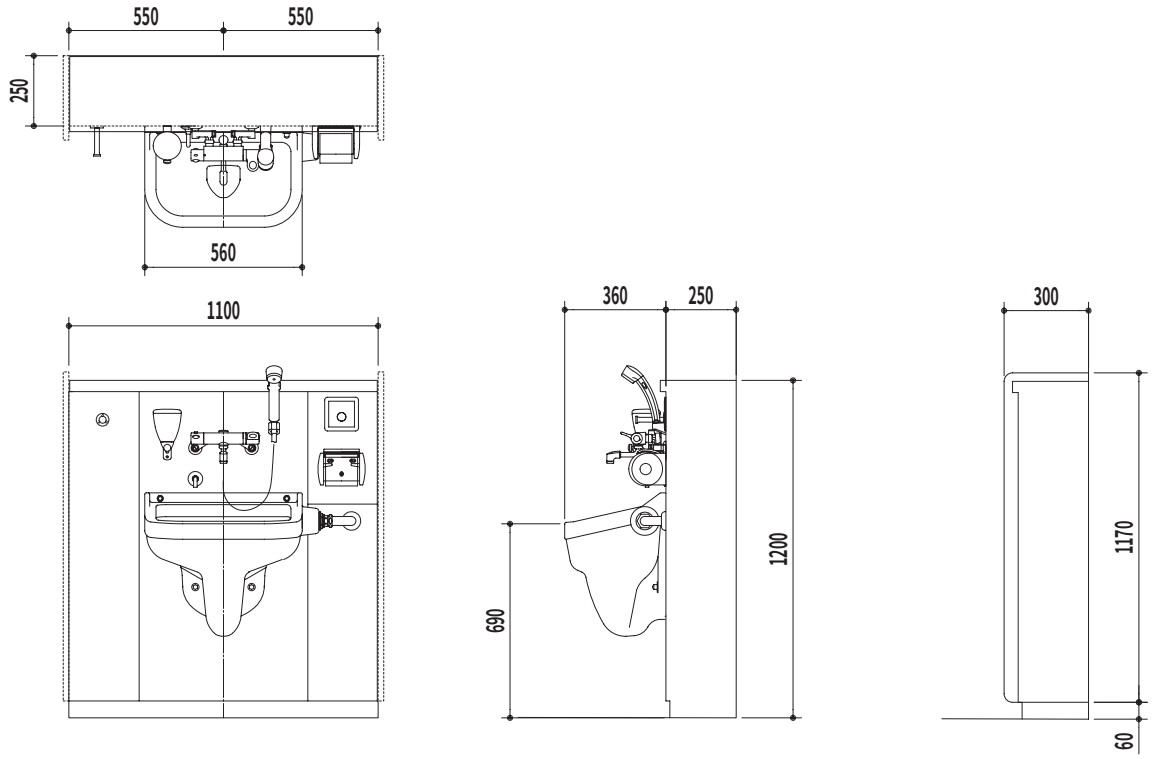
| | |
|---|---|
| **交流 100V 以外の電源は使用しないでください。電気工事は必ず有資格者が行い、D 種接地工事を行ってください。また漏電遮断器を設置してください。<br>※火災や感電、故障などの原因になります。** | |
| **ゆるんだコンセントは使用しないでください。<br>※火災や感電、故障などの原因になります。** | |
| **ぬれた手で電源プラグやコンセント、スイッチなどに触らないでください。またこれらに水をかけないでください。<br>※火災や感電、故障の原因になります。** | |
| **取付場所は所定の下地・補強を入れてください。また、フレームの固定はゆるみのないようにしてください。<br>※機器が倒れ、ケガをする恐れがあります。** | |
| **屋外や浴室、シャワールームなどの湿気の多いところには設置しないでください。<br>※火災や感電、故障の原因になります。** | |
| **地方条例に基づく飲料水以外の自家製井戸水や温泉水などは使用しないでください。<br>※機械の内部腐食により、感電や火災が発生したり、水質による皮膚炎などの原因になります。** | |

# 安全に関するご注意

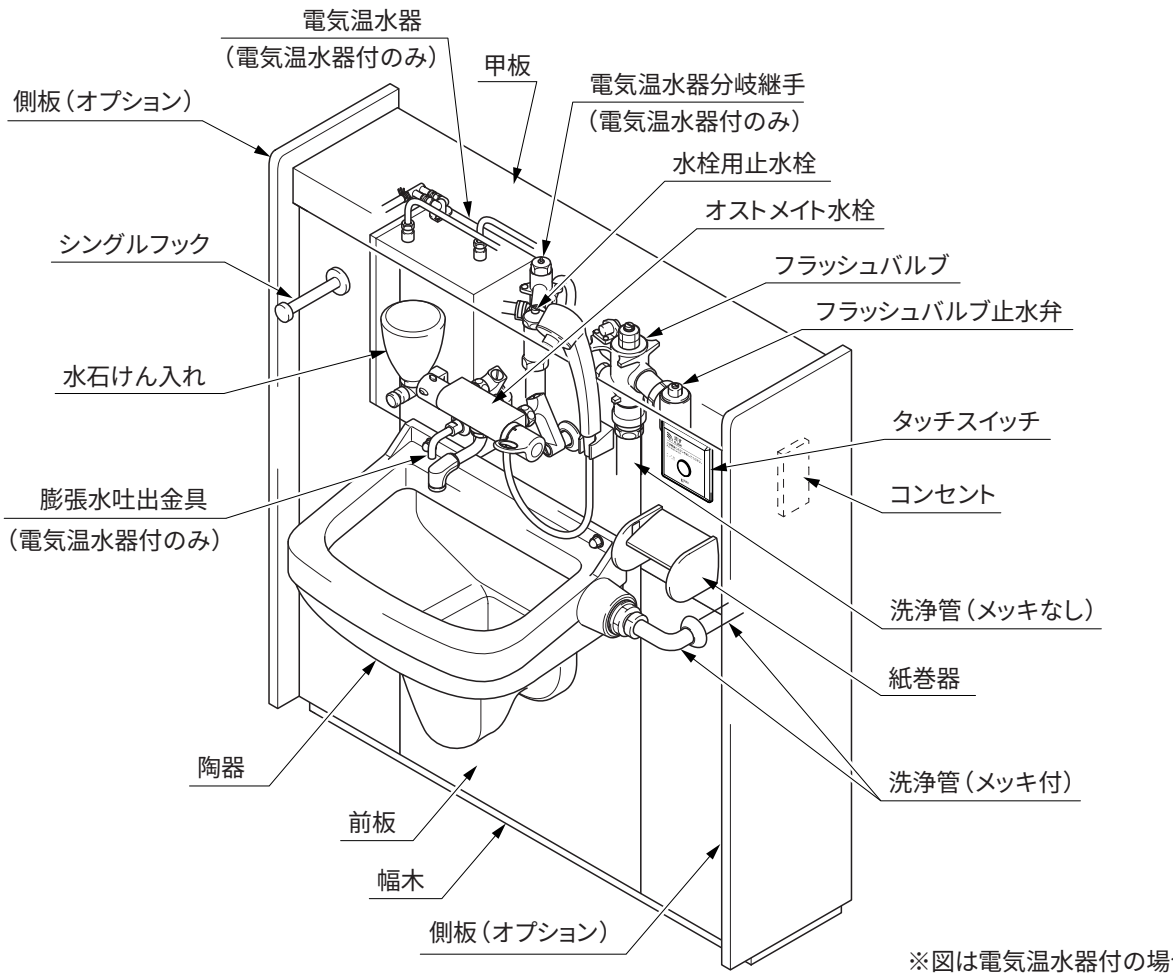
| ⚠注意 | |
|---|---|
| 電気温水器のタンクが空の状態で電源プラグをコンセントに差し込まないでください。<br>※機器の破損やヤケドの恐れがあります。 | <br>禁止 |
| 給排水管の接続は確実に行ってください。接続には配管用シールテープやヘルメシールなどのシール材を必ず使用してください。<br>※漏水により室内浸水の原因になります。 | <br>指示実行 |
| 施工後の漏水点検を必ず行ってください。<br>※漏水の原因になります。 | <br>指示実行 |
| 陶器は割れものです。<br>●施工前に輸送中の破損がないことを確認してください。<br>●施工後に施工段階での破損がないことを確認してください。<br>※破損部でケガをしたり、漏水の原因になります。 | <br>指示実行 |
| 施工の際は長そで、安全メガネ、革手袋などの保護具をご使用ください。<br>※鉄板切断部やビスの先端、ドリルの切り屑などでケガをする恐れがあります。 | <br>指示実行 |

# 標準施工図

## ■意匠図




## ■各部の名称



# 施工前の確認事項・準備・注意

## 1．取付壁面について

●取付壁に十分な強度・補強があること。

- コンクリート壁→アンカー固定が可能であること。（仕上厚 30mm 以内）
- 鋼製下地＋耐水合板→ LGS は WS-65 ピッチ 455 以下、合板は t12 × 1 枚張以上。
- その他の壁→上記と同等以上の強度を有するもの。

- コンクリート壁および LGS 下地＋耐水合板張り→製品に取付ボルト・ビスを同梱しています。
- その他の壁→施工部材を別途現場でご用意ください。

●仕上済の壁・床に墨を打つ場合は、後で消せるようにチョーク墨などをご使用ください。

## 2．床について

●アンカー固定が可能であること。

●スラブ面から仕上面までの仕上厚 30mm 以内。

●出幅木は商品と干渉します。

**※建築施工業者様とお打ち合わせください。**

## 3．給排水について

●指定位置にあらかじめ給排水管を立ち上げておくこと。

●製品との接続は異種金属接続用継手を使用すること。

**※赤水が発生したり、漏水する恐れがあります。**

●給水は必ず上水道に接続すること。

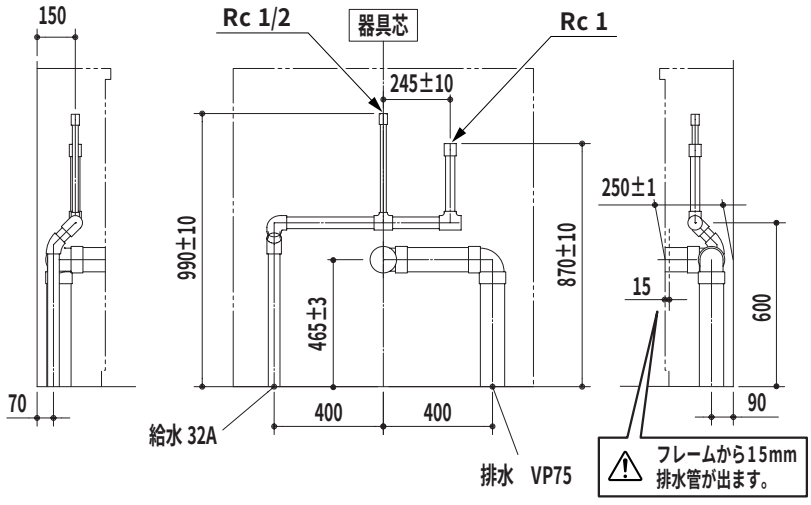
●給排水配管はぐらつきがないように、しっかりと支持をとること。特にフレキシブルジョイントなどで接続する場合、ジョイントの両端から 300mm 以内に配管支持を取ること。

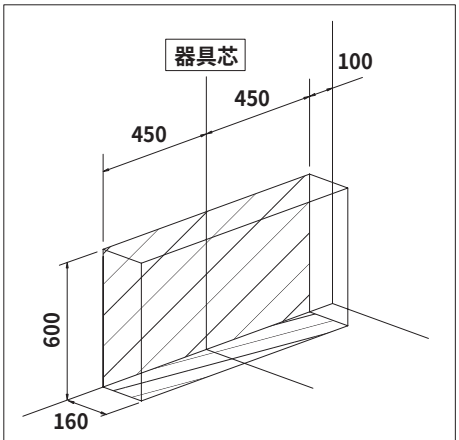
**※接続がゆるみ、漏水する恐れがあります。**

### ＜給排水取り出し位置図＞

**※つなぎ込み位置までの配管経路は現場条件に応じて、お客さまにてご計画ください。下図にその一例を示します。**

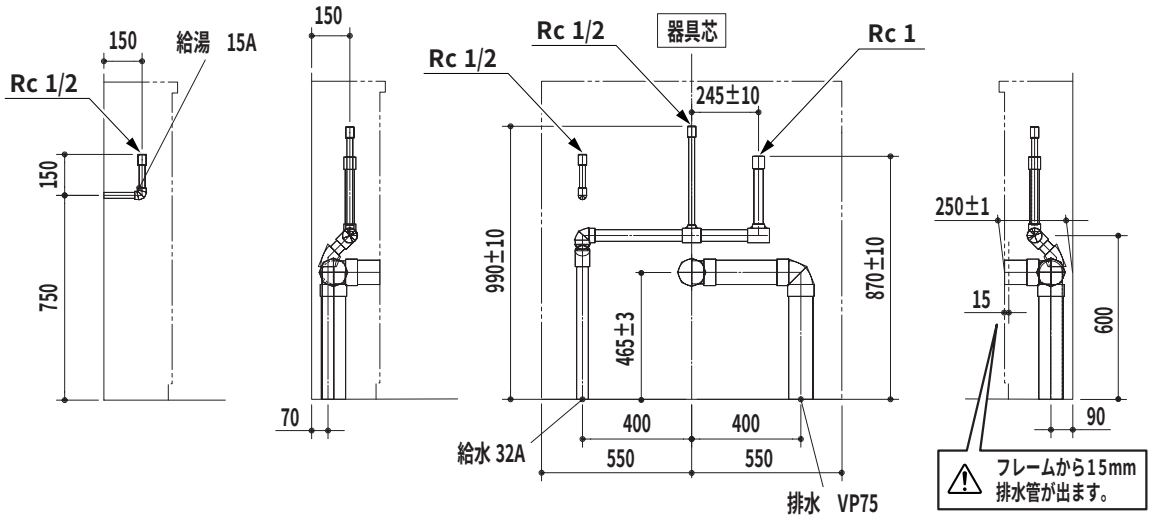
**電気温水器付の場合**

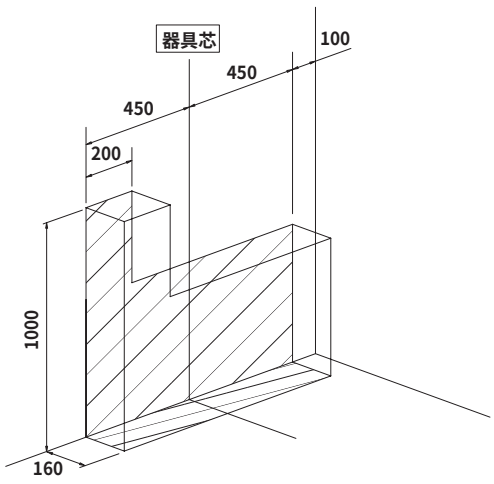



- **上図の位置の範囲内で給排水管を立ち上げ、所定の位置まで配管してあることをご確認ください。**
- **電源の立ち上げも上図の範囲内であることをご確認ください。範囲外の場合、電気施工業者様に修正をご依頼ください。**

**電気温水器なしの場合**



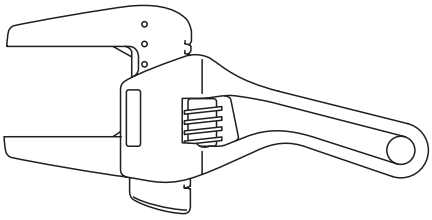

- **左図の位置の範囲内で給排水管を立ち上げ、所定の位置まで配管してあることをご確認ください。**
- **電源の立ち上げも左図の範囲内であることをご確認ください。範囲外の場合、電気施工業者様に修正をご依頼ください。**

## 4．使用工具

●一般水道工事に使う工具以外に、下記の工具部材をご用意ください。

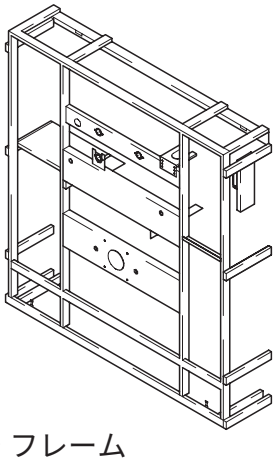
- 振動ドリル、ダストポンプ（アンカー下穴用） ドリル刃：コンクリート用φ 12mm
- 充電ドリルドライバ（ビス締め・下穴開口用）ドリル刃：鉄板用φ 7mm、φ 3mm
- モンキーレンチまたはレンチセット（ナット締め用）
- 銅管カッター（洗浄管切断用）
- アルミトーキレンチ（洗浄管等固定用）
- プライヤー（膨張水排出口接続等用）
- 水準器（フレーム設置調節用）
- 精密ドライバー（タッチスイッチ設定用）
- ショートドライバー（＋）（側板取付用）
- ハンマー、アンカー打込棒（アンカー打込用）

「トーキレンチ」

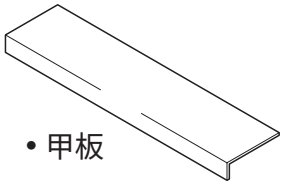


# 部品の確認

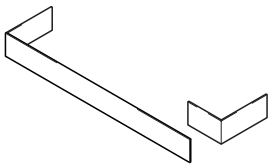
・ビス類
・グリップアンカー　4本　・床・壁固定用六角ボルト（M8×80）　4本
・高さ調節・奥行調節用六角ボルト（M6×60）　4本　・寸切ボルト　4本　・ナット（M6）4コ、（M8）4コ
・角座金　4枚　・座金（大）　4枚　・座金（小）　4枚　・六角タッピンねじ　2本　・トラスタッピンねじ　12コ
・SUSタッピンねじ　7コ　・ドリルねじ　10本　・Uボルトセット　2本　・トラスねじ（M6×12）　2コ
・前板引掛金物　6コ　・スペーサー　1mm、2mm　・面ファスナー　26枚　・樹脂製ハンガー部材　2コ



・フレーム



・甲板

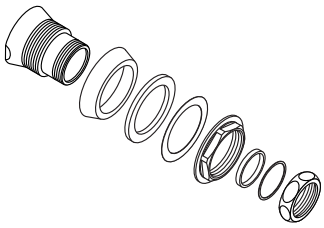


・幅木　大、小

・フレキ管用継手
ニップル　2コ

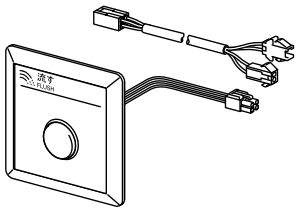
・ワン座　1コ

・スパッド　1コ

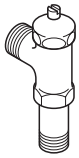


・SUSフレキ管
・電気温水器付　L＝400　3本
・電気温水器なし　L＝400　2本

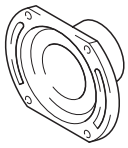
・タッチスイッチ　1台

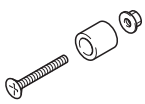


・アングル止水栓
・電気温水器付　1コ
・電気温水器なし　2コ

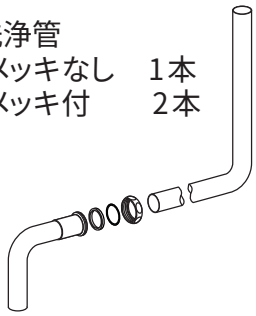


・排水フランジ　1コ
・排水フランジ固定用ビス
＋フランジスペーサー＋ナット　4セット

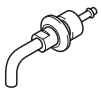




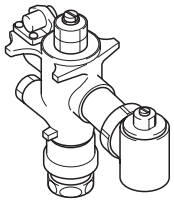
・洗浄管
メッキなし　1本
メッキ付　2本



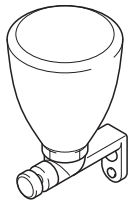
・膨張水排出金具　1コ
（電気温水器付タイプのみ）



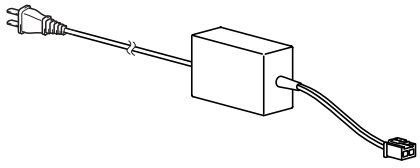
・フラッシュバルブ　1台



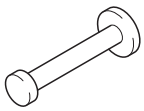
・水石けん入れ　1コ



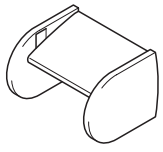
・AC/DCアダプタ　1コ、
ケーブル　1本



・シングルフック　1本



・紙巻器　1コ

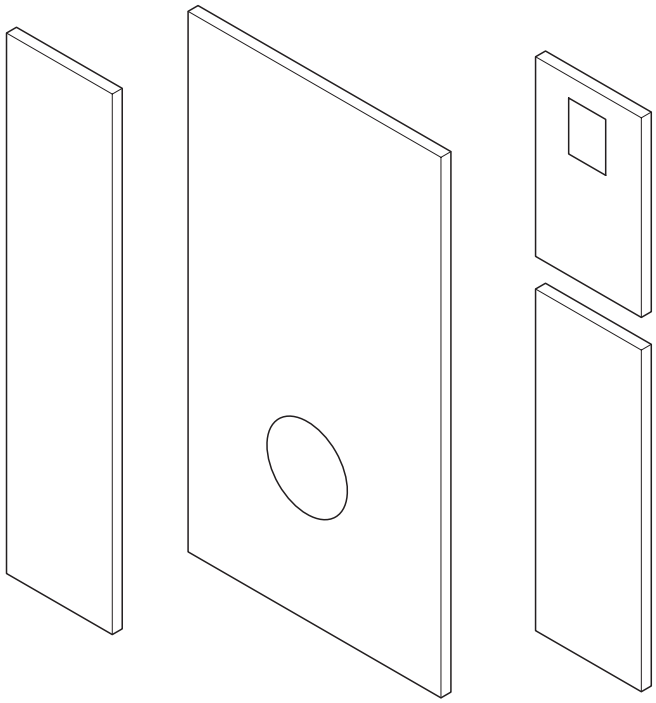


・接着剤　1コ

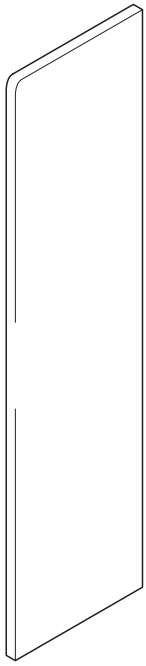
・施工説明書・取扱説明書

# 部品の確認

• 前板　1セット

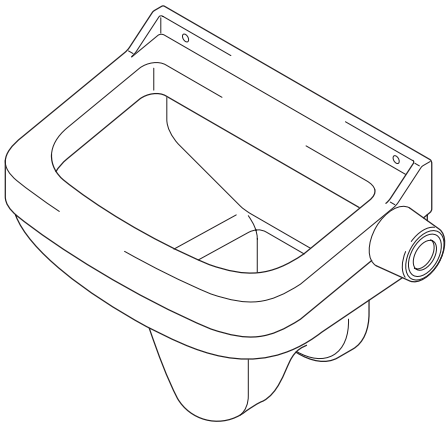


• 側板（オプション）

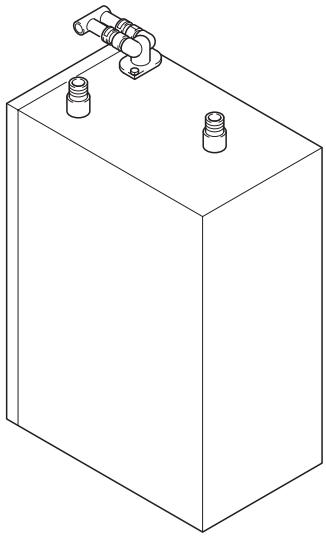


側板固定ビス
（6本）

• 汚物流し　1セット



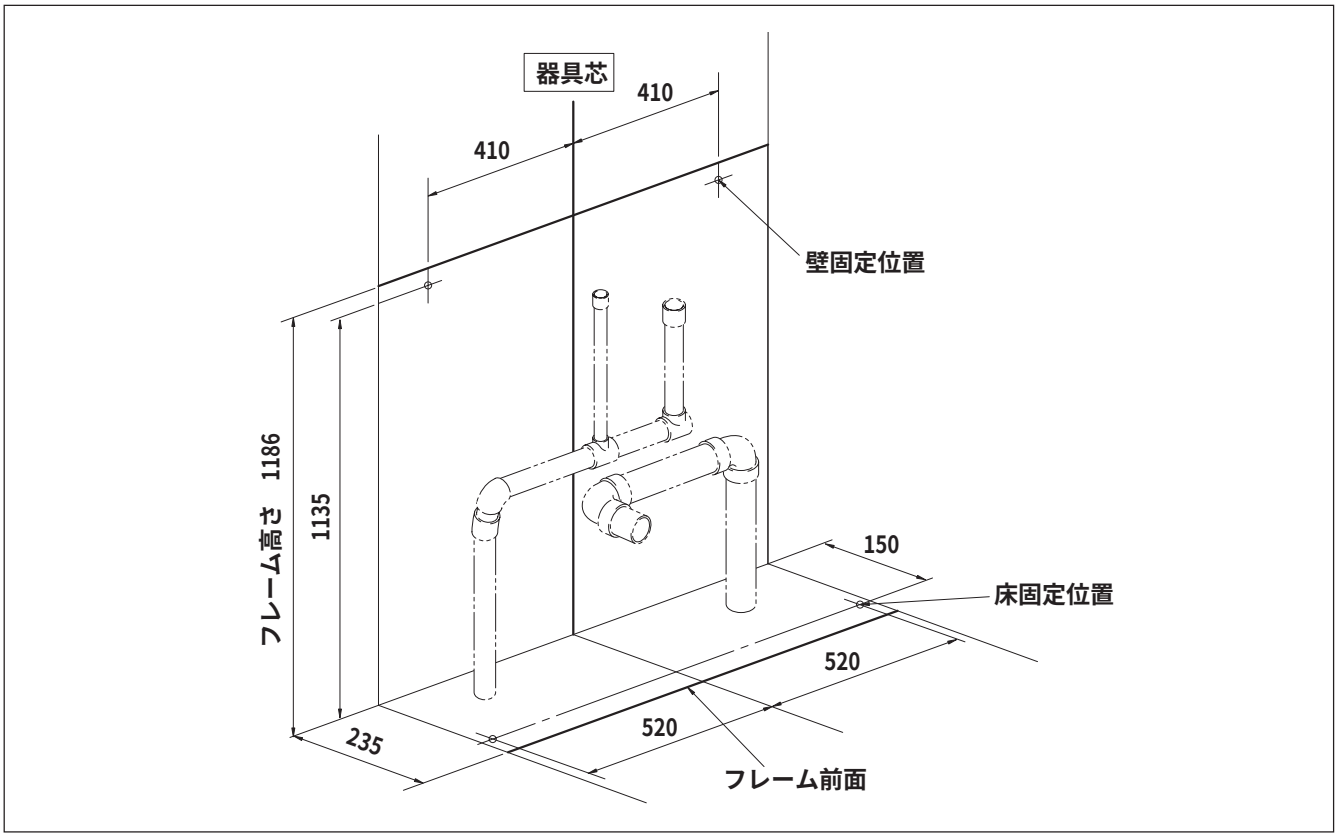
• 電気温水器（電気温水器付タイプのみ）1台



# 施工方法

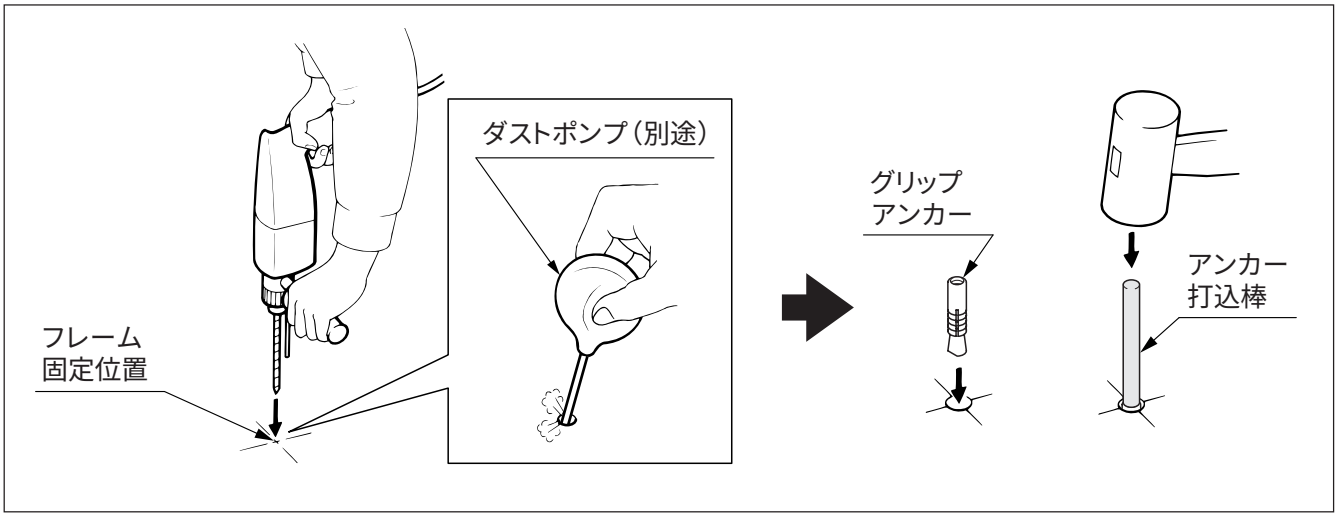
## 1．墨打ち

図の位置に墨打ちを行ってください。
※仕上済の壁・床に墨を打つ場合は後で消せるようにチョーク墨などをご利用ください。 **注意**




## 2．壁・床固定用アンカーの打ち込み

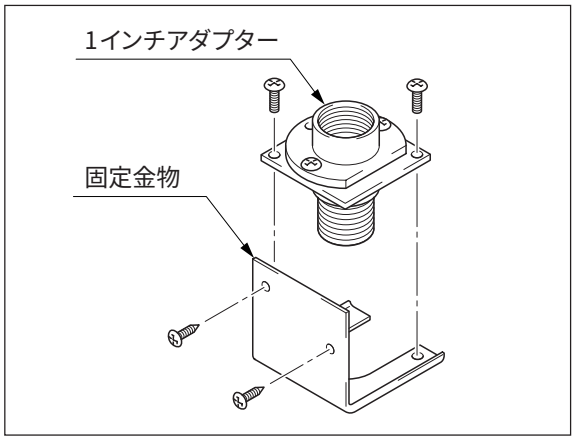
墨に従い、壁・床固定位置に下穴をあけます。床固定位置の下穴は振動ドリルφ12にて仕上厚＋40mmの深さの穴をあけます。
※ダストポンプを使用し、下穴内の切り屑を必ず掃除してください。
**十分な固定強度が確保できず、ユニットが倒れケガをする恐れがあります。** 指示実行
グリップアンカーを下穴に挿入し、アンカー打込棒で打込んでください。




コンクリート壁の場合、床と同様に墨の位置に下穴をあけてグリップアンカーを打込んでください。
壁が合板の場合、下穴としてφ3mmの貫通穴をあけてください。その他の壁の場合も施工部材（別途手配）に適合した下穴をあけてください。

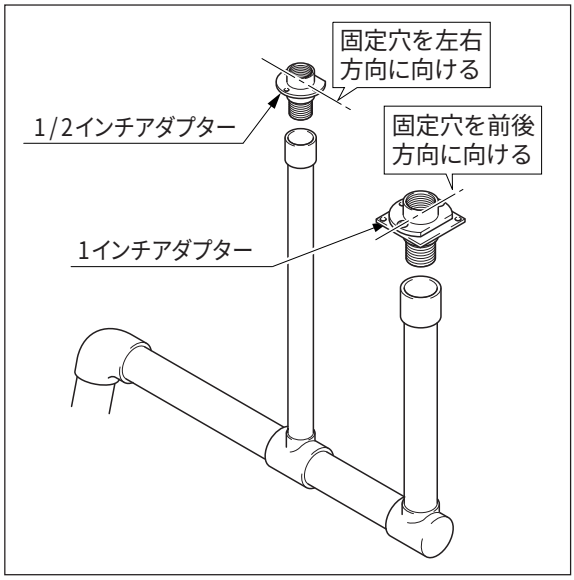
## 3．給水アダプターの取付け

（1）設備配管側取合部の1インチのアダプターとアダプターを取り付けている固定金具を取り外します。
**※ビス類を無くさないように保管してください。**
**（フレキシブルジョイントを使用して接続を行う場合、アダプターの取り外しは必要ありません）**

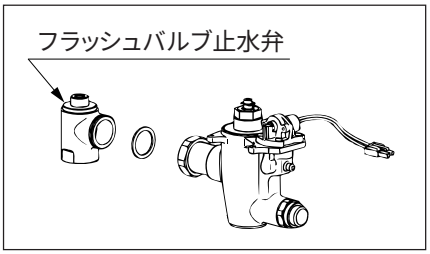


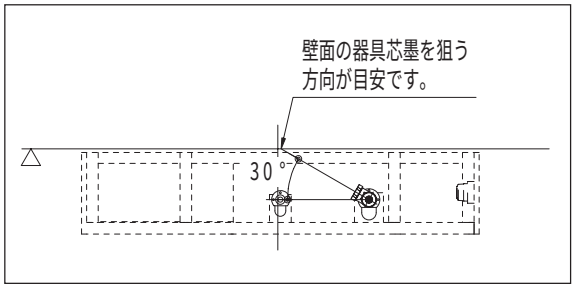

（2）アダプターをそれぞれ給水管に取り付けます。
**※のちほど、アダプター固定金具を取り付けられるように固定用の穴の方向に向けてください。**

**注意**



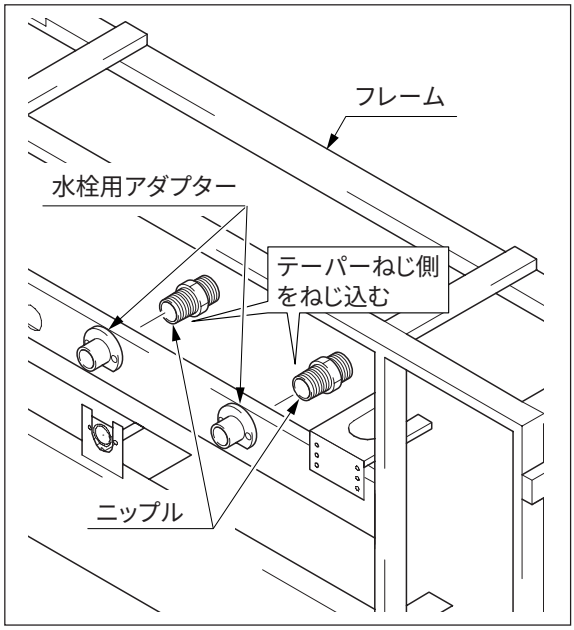

（3）1インチアダプターにフラッシュバルブの止水弁を取り付けます。止水弁は吐出口が向かって左方向、奥側に30°程度の向きにします。



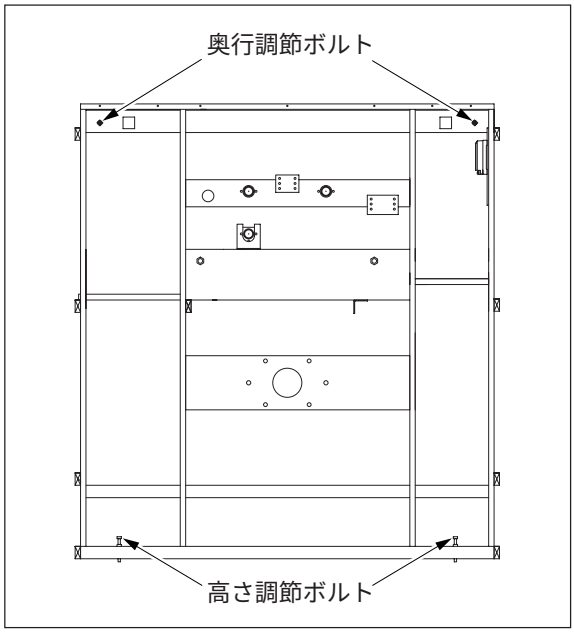

## 4．フレームの固定

（1）SUSフレキ管ニップルをフレームの水栓用アダプターの裏側に.取り付けます。

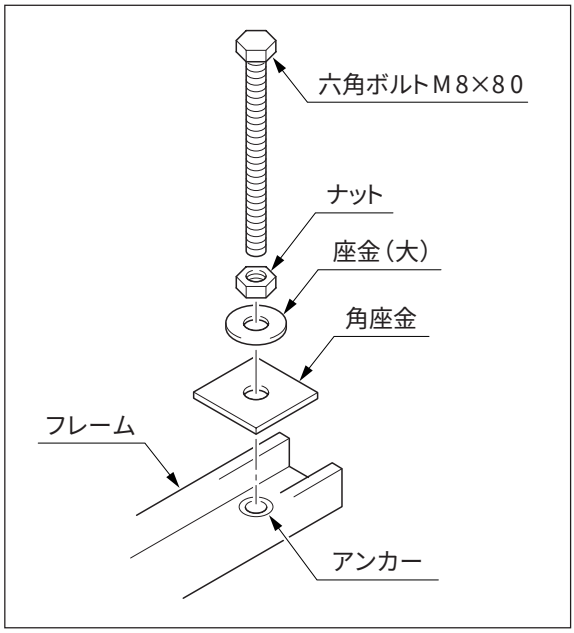


# 施工方法

（2）高さ調節ボルト（六角ボルト、M6×60）に六角ナットを付け、フレーム下部のカシメナットに取り付けます。同様に奥行調節ボルト（六角ボルト、M6×60）に六角ナットを付け、フレーム背面のカシメナットに取り付けます。




（3）フレームをフレーム固定位置に仮置きし、床固定ボルト（六角ボルト、M8×80）・壁固定ボルト（六角ボルト、M8×80）、（またはビス）で仮固定します。壁が鋼製下地＋耐水合板の場合、付属の六角タッピンねじを使用しますが、その場合下穴3mmをあけ、レンチやスパナでねじ込んでください。



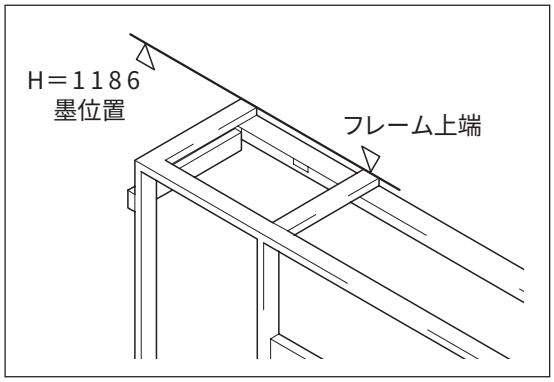

（4）高さ調節ボルトを回し、フレーム上端が墨位置に合うように調節します。

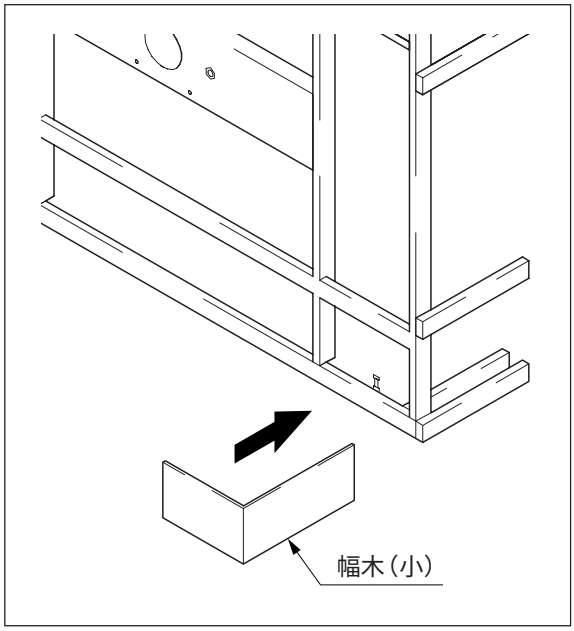
（5）壁側の幅木（小）を接着剤で固定します。

**※接着面のホコリや油分等をふきとってから接着してください。**

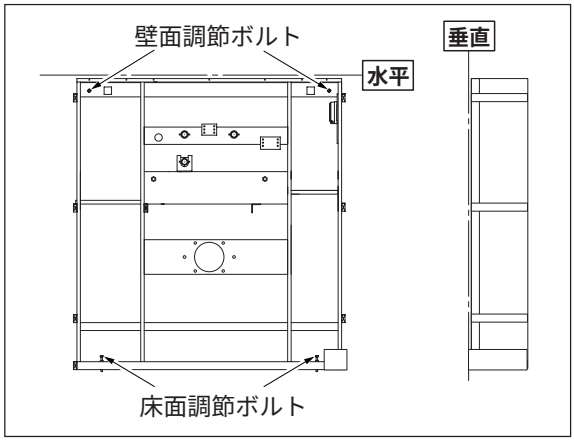
**※幅木・フレームの両方に接着剤をぬってください。**

**※フレームの本固定後は幅木が付かなくなる可能性があります。**



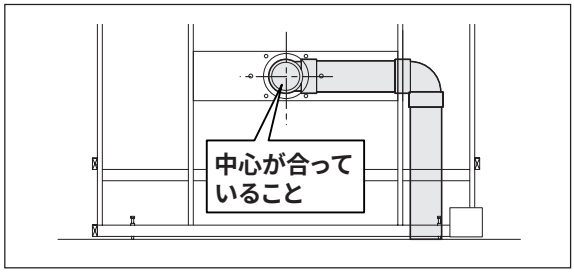



（6）フレームの下側が床の墨位置に合うように調節し、水準器をあて、壁面調節ボルトでフレームの倒れがないように（垂直に）調節します。
（7）床固定ボルトのナット、壁固定ボルトのナット（またはビス）を締め、ユニットを本固定します。
（8）壁面・床面の調節ボルトのナットを軽く締め、調節ボルトをロックします。




（9）排水管がフレームのフランジ取付穴の中心にあることを確認します。
**※中心にない場合は排水立上げを修正してください。**

**注意**

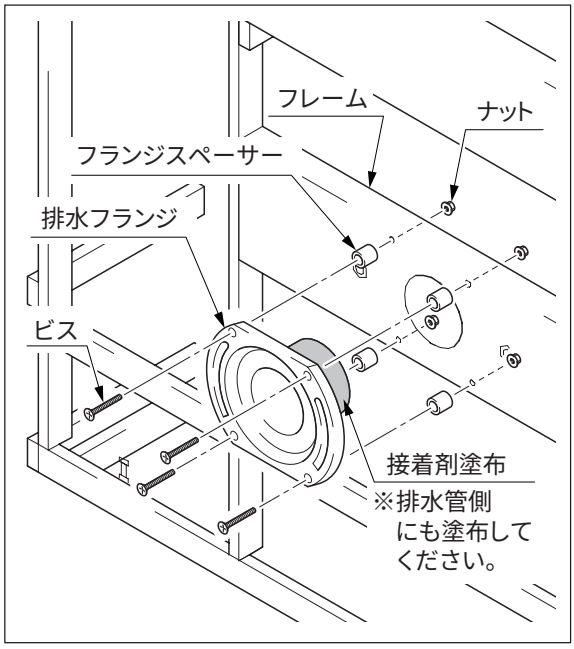



## 5．排水フランジの取付け

塩ビ接着剤を使用し、排水管と排水フランジを接着固定します。フランジをビスで固定しますが、フランジのビス穴がフレームのビス穴に合わない場合、フレームに下穴を追加してください。（φ7mm）

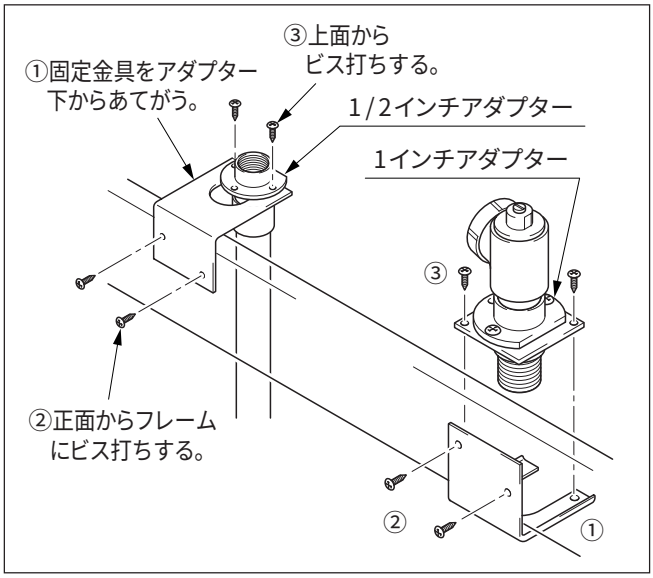
**※フランジとフレームの間には必ず付属のフランジスペーサーを挟んでください。**

**注意**




## 6．給水アダプタ固定金具の取付け

（1）アダプターの下面にアダプター固定金具をあてがい、正面からドリルねじでアダプター固定金具をフレームに固定します。
（2）続いて、上面から同様にドリルねじでアダプターをアダプター固定金具に固定します。
※必要に応じ、下穴φ3mmをドリルで開けてください。
（3）1/2インチ・1インチのアダプターの両方を同じように固定してください。



## 7．結線

ユニット右側のコンセントに100V電源を接続してください。
**※必ず有資格者（電気工事士）が行ってください。**

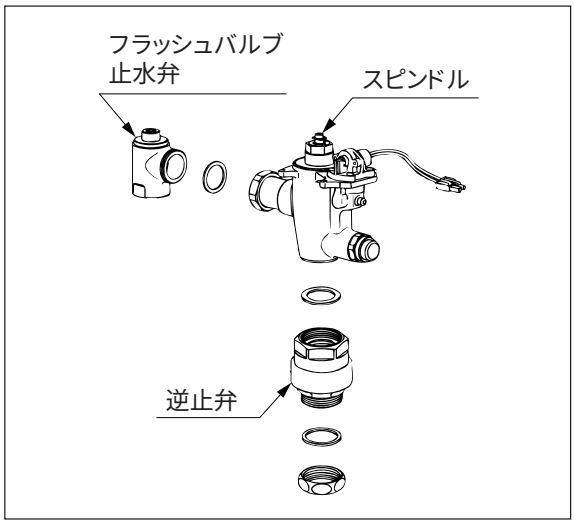
指示実行

## 8．フラッシュバルブの取付け

フラッシュバルブ本体に逆止弁を取り付け、フラッシュバルブ止水弁に固定します。

**※止水弁との間のゴムパッキンを忘れずに付けてください。なお、フラッシュバルブ本体のスピンドル位置は出荷時の状態（黒丸）から変えないでください。**

注意



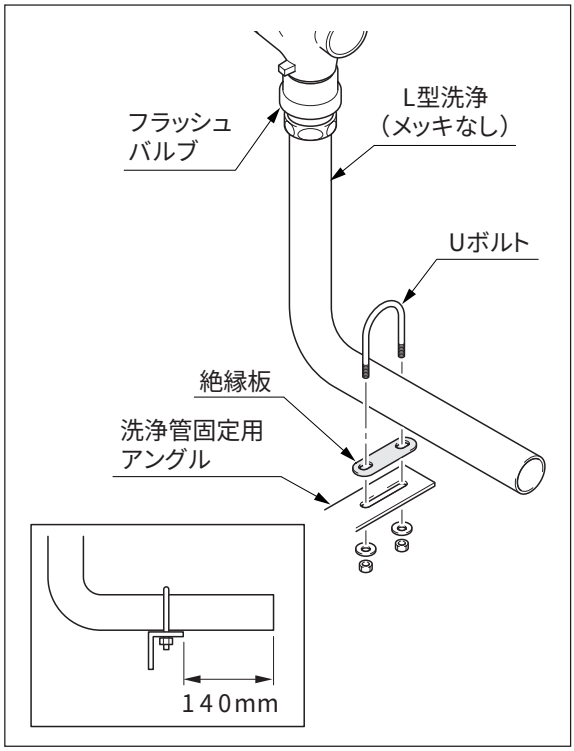

## 9．L型洗浄管の取付け

（1）メッキなしのL型洗浄管を所定寸法にカットします。高さ方向は洗浄管固定用アングルにUボルトの絶縁板（赤色）を挟んで洗浄管が乗る長さ、横方向は洗浄管固定用アングルから先端が140mm出る寸法としてください。

**※洗浄管と洗浄管固定用アングルの間には必ず赤色の絶縁板を挟んでください。洗浄管が腐食し、漏水する恐れがあります。**

指示実行

（2）Uボルトで洗浄管を固定します。



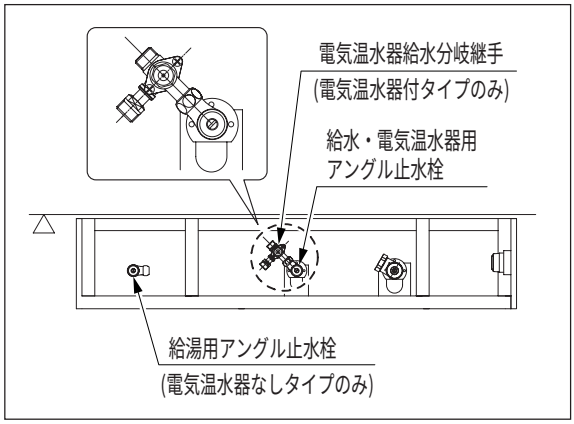

## 10．アングル止水栓の取付け

1/2インチアダプターにアングル止水栓を取り付けます。電気温水器付の場合、アングル止水栓に給水分岐継手を取り付けます。

**※シートパッキンを忘れずに使用してください。**

注意

電気温水器なしの場合、給湯側配管末端にもアングル止水栓を取り付けます。



## 11．電気温水器の取付け（電気温水器付の場合）

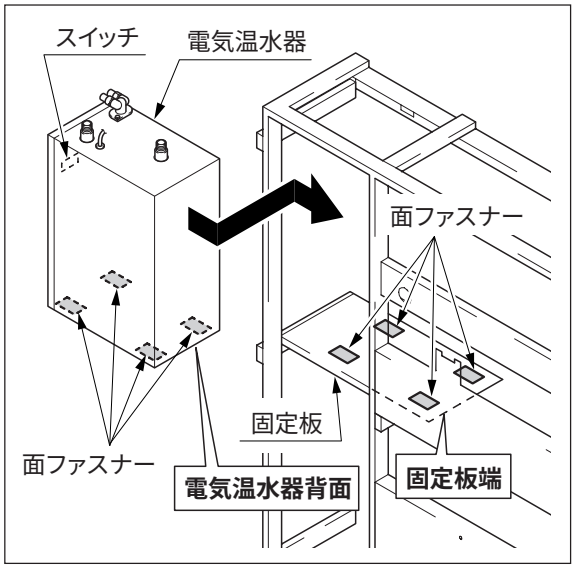
（1）電気温水器の底面4隅に面ファスナーを張ります。

**※接着面のホコリや油分等をふきとってから接着してください。**

（2）フレームの向かって左側のスペースから電気温水器をスイッチが左側を向くように入れ、フレームの固定板に面ファスナーで固定します。

※固定板の端と電気温水器の背面を合わせる位置に固定してください。

**※電源プラグは通水するまではコンセントに差さないでください。**

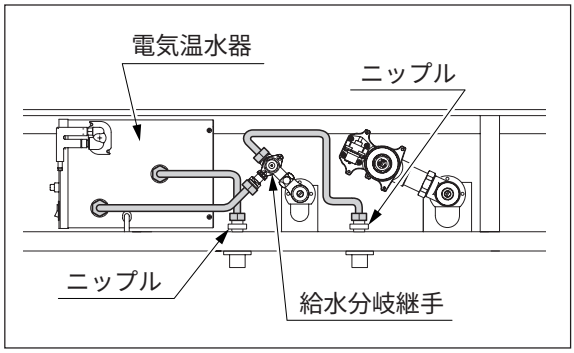



## 12．フレキ管接続

**＜電気温水器付の場合＞**

右図のように給水分岐継手とオストメイト水栓給水側のニップル間、給水分岐継手と電気温水器給水口、電気温水器給湯口とオストメイト水栓給湯側のニップル間をそれぞれSUSフレキ管で接続します。

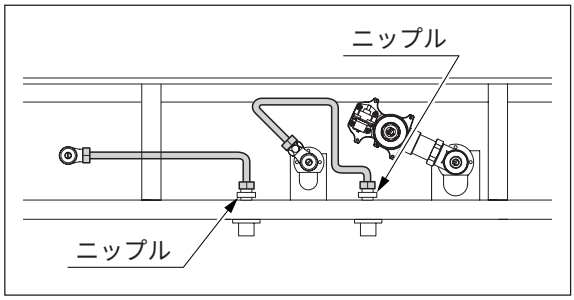
**※接続の際、シートパッキンを忘れずに使用してください。**




**＜電気温水器なしの場合＞**

給水側アングル止水栓とオストメイト水栓給水側のニップル間、給湯側アングル止水栓とオストメイト水栓給湯側のニップル間をそれぞれSUSフレキ管で接続します。

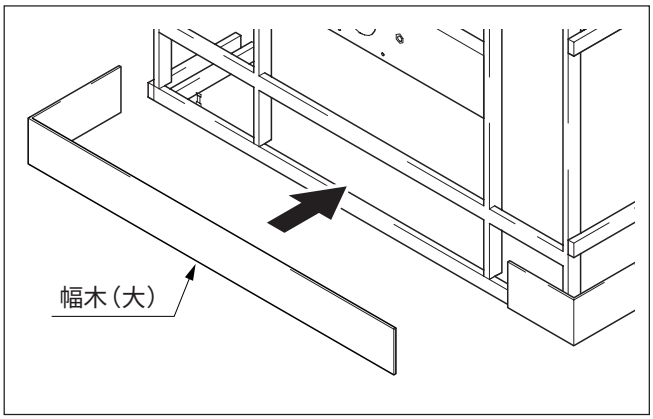
**※接続の際、シートパッキンを忘れずに使用してください。**




## 13．幅木（大）の取付け

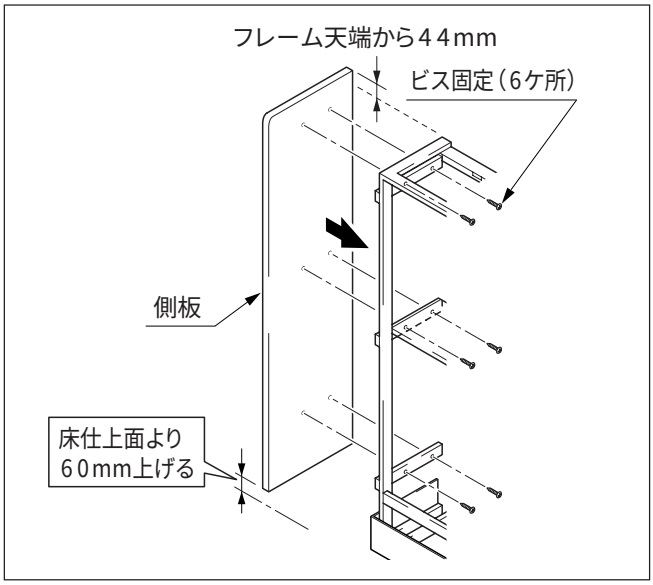
幅木（大）を接着剤で固定します。

**※接着面のホコリや油分等をふきとってから接着してください。**



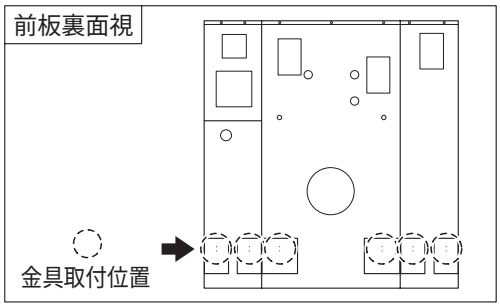

## 14．側板の取付け（オプション）

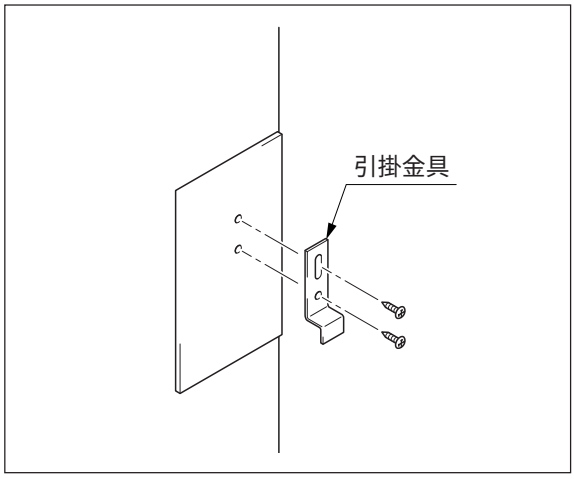
側板付属のビスで、側板を取り付けます。



## 15．前板の固定

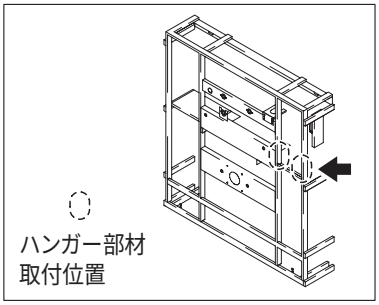
（1）前板裏側に引掛金具をトラスタッピンねじで固定します。（全6ケ所）

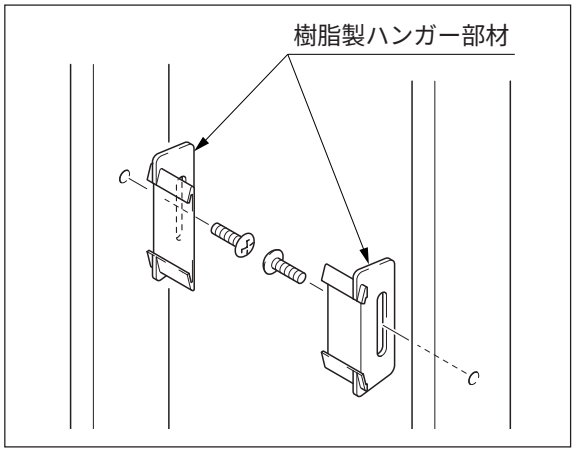


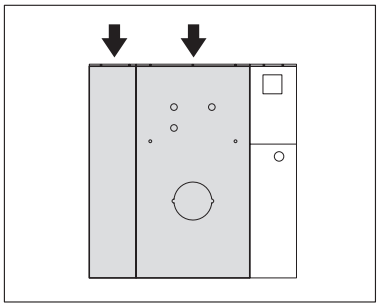

（2）前板の養生シートをはがします。

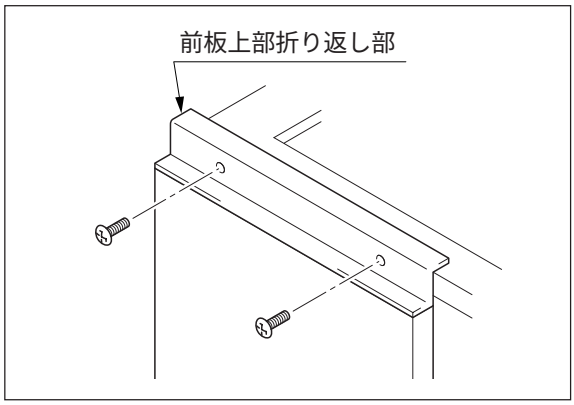
（3）樹脂製ハンガー部材（白）をフレーム右側の縦骨にトラスねじ（M6×12）で仮固定します。



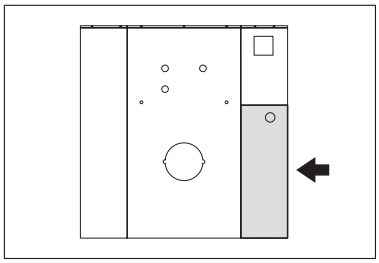



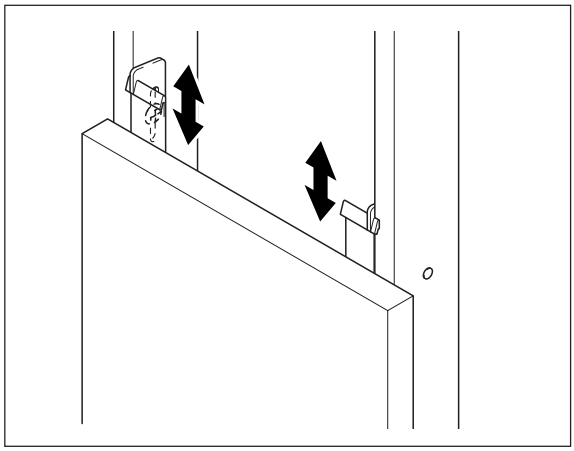

（4）中央と左側の前板の上部折り返し部をフレーム上端に引っ掛け、ステンレス製ビスで仮固定します。






（5）右側下の前板を樹脂製ハンガー部材（白）に掛け、中央の前板と下端が揃うように樹脂製ハンガー部材（白）の位置を調節し、樹脂製ハンガー部材（白）を本固定します。



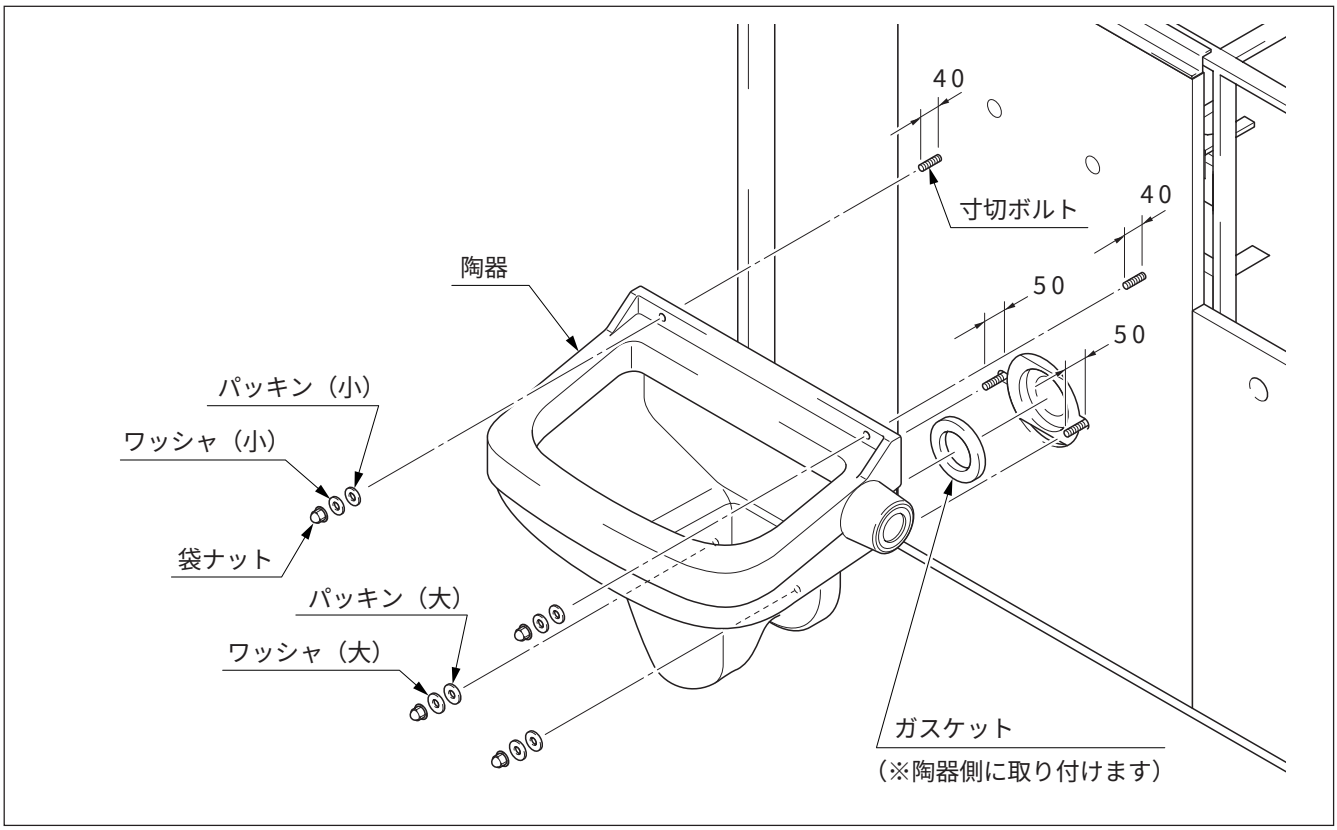


（6）左右のクリアランスを調節し、中央と左側の前板を本固定します。

（7）前板に段差ができてしまった場合、フレームと前板の間に同梱のスペーサーを挟み調節してください。

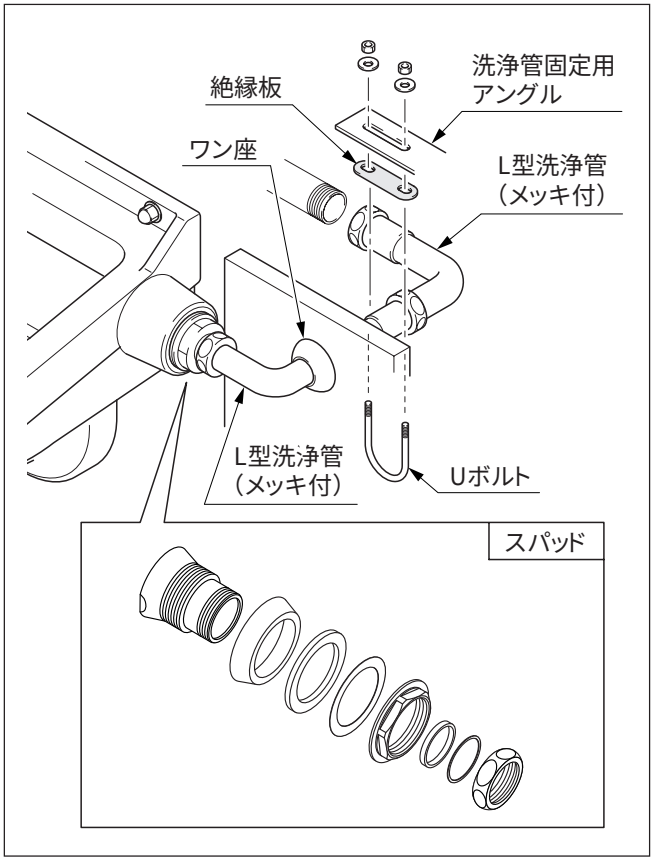
## 16．陶器の取付け

（1）フレームのボルト穴に寸切ボルト4本を取り付けます。
（2）陶器排水口にガスケットを取り付け、袋ナット、ワッシャ、パッキンを使用し陶器を固定します。
※ナットの締めつけすぎにご注意ください。
陶器の破損の可能性があります。 **注意**



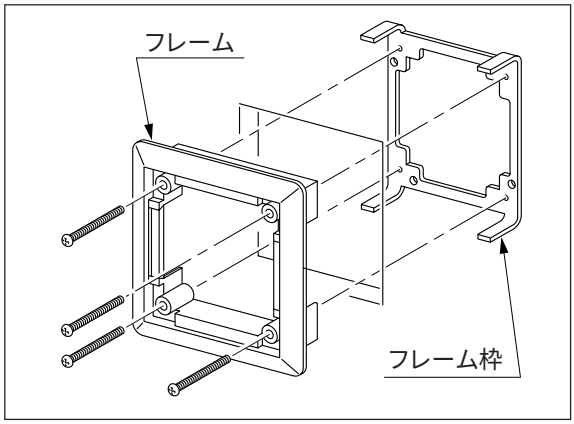

## 17．スパッド、洗浄管の取付け

（1）汚物流しにスパッドを取り付けます。
（2）洗浄管（メッキ付）を適切な長さにカットし、メッキなし洗浄管と汚物流しのスパッド間をつなぎます。
（3）前板側の洗浄管にはワン座を取り付けてください。
（4）U字ボルトで前板側洗浄管を固定します。

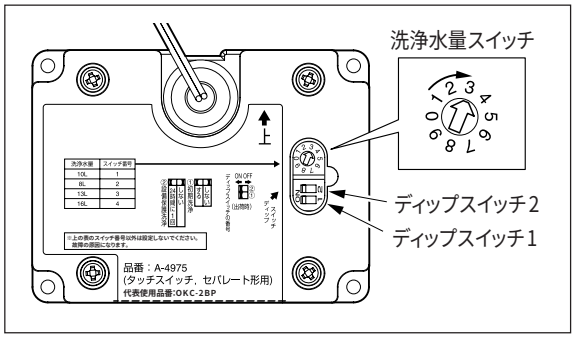


## 18．タッチスイッチの取付け

（1）タッチスイッチフレームを右上の前板の開口部にフレーム枠を使って取り付けます。



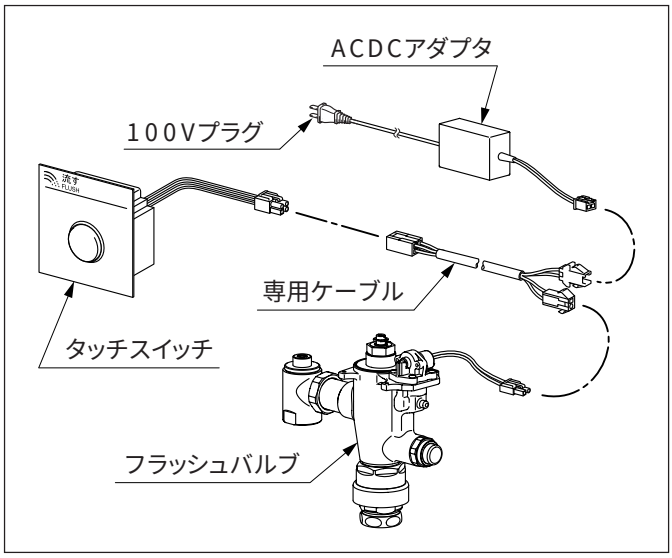

（2）タッチスイッチ本体裏側のゴムキャップを外し、洗浄水量スイッチを「3」（13L）に切り替えます。（設備保護洗浄が不要な場合はディップスイッチ2をOFFに設定します。）




（3）キャップを元に戻し、本体をフレーム枠に取り付けます。

（4）タッチスイッチのコネクタと専用ケーブルを接続し、フラッシュバルブ側のコネクタ、ACDCアダプタのコネクタを接続します。
※ACDCアダプタは面ファスナーでコンセント下のスペースに取り付けてください。

（5）右上の前板をビスで固定してください。

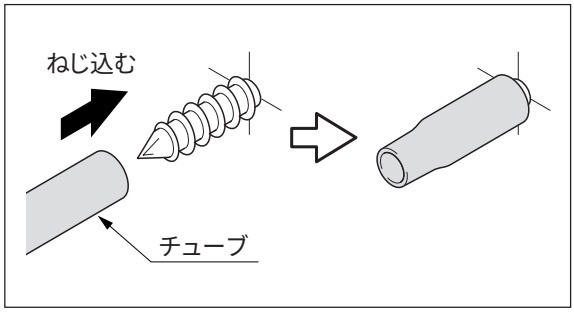



## 19．各器具類の取付け

シャワー水栓、シングルフック、水石けん入れ、紙巻器、膨張水排出金具（電気温水器付タイプのみ）を各商品同梱のビス等を使用して固定します。（4ページの「各部の名称」を参照ください）
※膨張水排出金具は回転しないようにヘルメシールなどで接着固定してください。

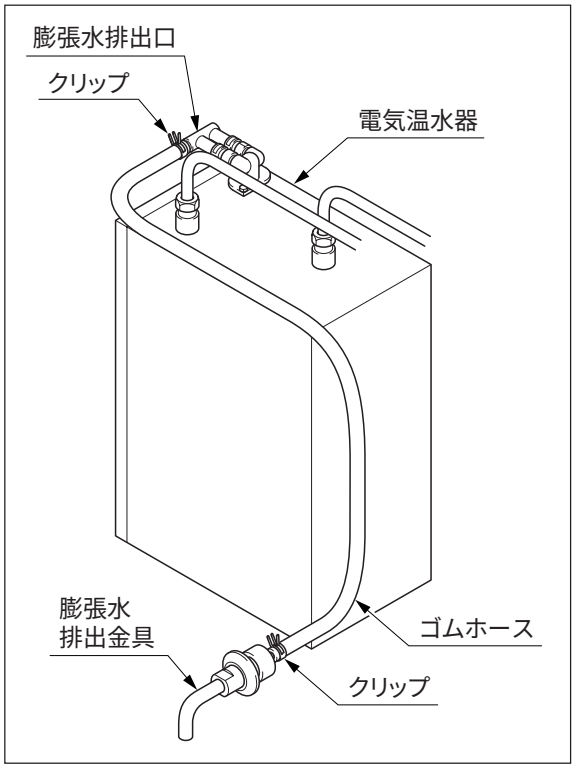
## 20．前板裏ビス先端の養生

前板裏に突出したビスの先端を同梱のチューブにて危険のないようにカバーしてください。
※チューブはカッターなどで適宜カットしてください。



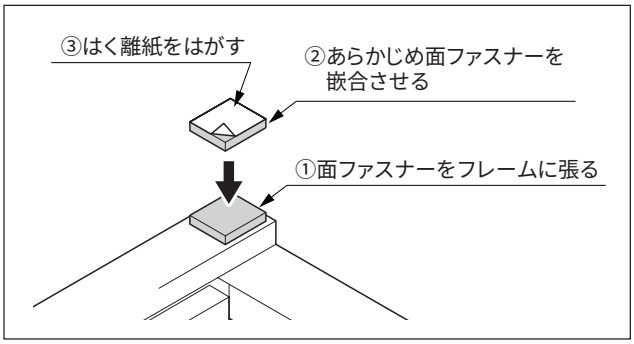
## 21．膨張水排出ゴム管の接続（電気温水器付の場合）

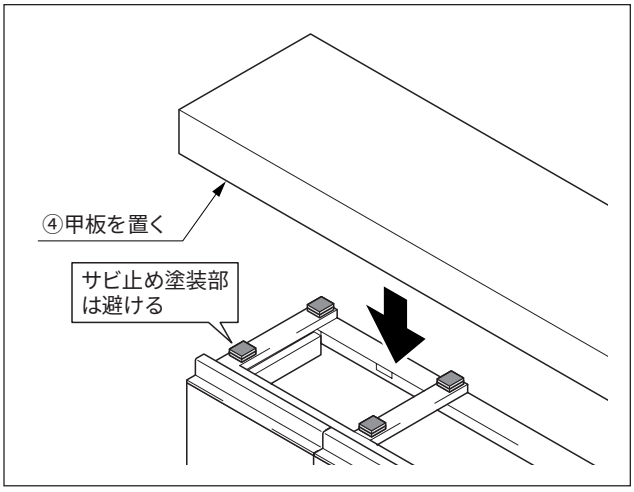
電気温水器の膨張水排出口と前板に取り付けた膨張水排出金具間を電気温水器同梱のゴムホースで接続します。
※ゴムホースは逆勾配にならないように適切な長さで切断してください。
※ゴムホースはクリップで固定してください。




## 22．甲板の取付け

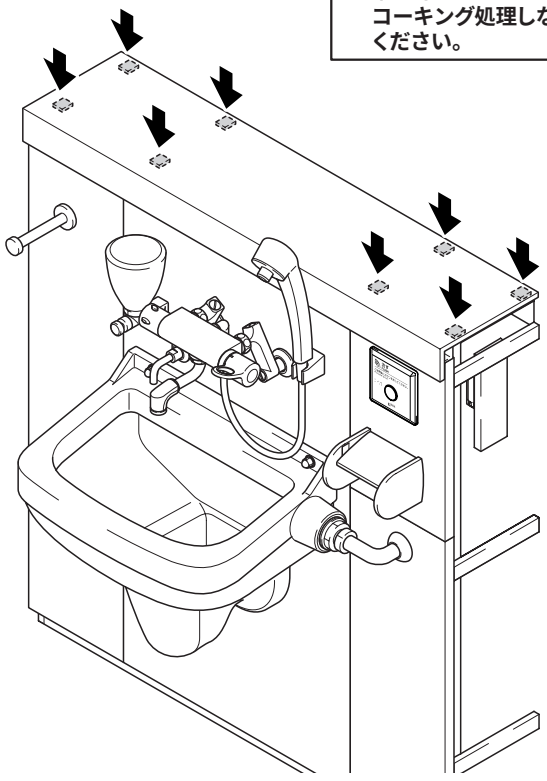
フレームに面ファスナー（8ケ所）を取り付けます。相手方の面ファスナーを嵌合させ、はく離紙を取り、甲板を位置を合わせながらフレーム上に置き、面ファスナーの上を軽く叩き接着固定します。
※接着面のホコリや油分をふき取ってから接着してください。




⑤面ファスナーの上（8ケ所）を
軽く叩いて接着固定させる。

**注 メンテナンス時に甲板を取り外します。コーキング処理しないでください。**



## 23．漏水チェック・電源プラグ差し込み

（1）通水し、漏水のないことを確認してください。
※通水の際は2名以上の人員を配置し、異常がある場合は直ちに元バルブを閉められるようにしてください。また、必ず通水試験を行うことを関係者に連絡し、了解をとってください。別のところでも工事を行っていて、配管が接続されていないこともあります。

（2）電源も誤接続がないことを確認してから通電し、器具のプラグをコンセントに差してください。
※電気温水器は缶体内が満水になってからスイッチを入れてください。
(a)スイッチを入れると、スイッチ部の電源表示灯が点灯します。（電源表示灯は電気温水器のヒーターが働いている間だけ点灯し、沸き上がった後は消灯します。）
(b)フラッシュバルブが作動するにもかかわらず電源表示灯が点灯せず、温水も出ない場合は空だきなどのために安全装置の過昇防止バイメタルが作動していることが考えられます。万一、空だきをさせてしまった場合は、いったん電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いた後、缶体を冷ましてください。
(c)缶体や缶体内の水温が低くなっていることを確認し、電気温水器を取り外し電気温水器をリセットします。リセット方法および缶体内の水の抜き方については電気温水器の施工説明書をご参照ください。

**※通水開始直後は、工事に伴い配管中に混入したゴミが流出してくる可能性があります。フラッシュバルブ、シャワー水栓、電気温水器の給水分岐水栓のストレーナーやバルブの止水面に付いたゴミは除去してください。**

## 24．水勢調節・クリーニング

漏水チェック後、水勢の調節とクリーニングを行ってください。
オストメイト水栓は陶器から湯があふれない流量に調節します。フラッシュバルブは鉢内全体に水が回り、水の飛び散りのない強さにしてください。また、タッチスイッチの設定、フラッシュバルブスピンドル設定を再度確認してください。